

「おまかせ民主主義」 でない地域づくりを



あ く つ せいじ
阿久津 清次
鯉川議会議長

Seiji AKUTSU



朝日山からの眺め

まめな暮らしで 村づくり



だいらく かつひろ
大楽 勝弘
鯉川村長

Katsuhiko DAIRAKU



鹿角平観光牧場

新年明けましておめでとござい
ます。皆様には、希望に満ちた新年
を迎えられたこと、心より喜び申
し上げます。
昨年は、本村の自立する村づくり
の努力が内外に広まり、総務大臣表
彰授与の話題で幕を開けました。こ
のことが功を奏して、我が鯉川村議
会も全国表彰に輝きました。このた
め、国内の町村議会議員を始め多く
の関係者が本村を訪れ、村のPRに
もなりました。また、職員の来訪者
に対する対応の研さんにもつながり、
他町村の行政の実態を知る上でも良
い機会を得た一年でした。なかでも、
「豆で達者な村づくり」はもちろん
五十年間にも及ぶ村税完納は、訪れ
た方々に愕きと共感をされておられ
ました。全国に誇れる村税完納は、

本村唯一の自慢であり、住民福祉の
糧となっておりです。これからも皆
様とともに継続完納に努力してまい
りたいと思います。考えてみますと、
昨年の視察来訪者は、阿武隈開発事
業以来の視察者数と感じております。
これは、行政に携わった方々のご努
力はもちろんのこと、村民皆様の深
いご理解とご協力による地域づくり
であり、感謝を申し上げる次第であ
ります。
本村の自立に向けての活動は、今
始まったばかりであります。これか
らの本村の行方が大事になってまい
ります。
昨年十二月定例会では、国の地方
分権改革の影響を受けて、議員定数
十四人から十二人への減員、議員を
含めた特別職報酬の見直し、後期高

齢者医療対策など、委員会で審議さ
れ本会議で可決されました。
議会議員の任期も今年四月までと
なりますが、これまでを省みますと、
かつてないほど、議会や行政の課題
解決に迫られた四年間であったと痛
感しているところであります。特に、
農用地開発公団償還問題や行政改
革特別委員会設置による行政課題の
方向性を検証しながら、自立に向け
た村づくり、振興計画、廃校利用問
題など、十か年間を思わせる改革が
なされてきたように感じております。
一方で、本村は、自然環境豊かな
村とこれまで自負してきましたが、
針葉樹林の成長とともに、動植物の
生態にも大きな変化が見られ、予期
せぬ地滑りなども発生しています。
このことは、全国的な傾向とはいえ、

私たち人間社会に危険信号を発して
いるように思えてなりません。もう
一度、私たちの身の回りから再点検
し、総合的な安全・安心な地域づく
りを住民と行政が一体となって進め
ていくべきと考えます。
今年、統一地方選挙を始め、各
種団体の改選期、また、住民税の大
幅改正、交付税の見直し、後期高齢
者対策、これまで造られた道路を始
めとする施設の維持管理対策、館山
公園整備など多くの課題が山積して
います。平成十九年度は、こうした
課題を「お任せ民主主義」ではない住
民参加型行政に期待をしたいと考え
ております。
今年も皆様にとりまして良き一年
でありますよう、ご祈念申し上げ、
新年のあいさつといたします。

新年明けましておめでとござい
ます。皆様には、輝かしい新年をお
健やかに迎えられましたこと、お喜
びを申し上げます。また、且ごろか
ら村政各般にわたりましてのご支援
ご協力に心から感謝を申し上げます。
昨年は山間高冷地の鯉川村の農業
には大変厳しい試練の年でありまし
た。農作物の成長期に長雨、日照不足
低温などが影響し、稲作、大豆など
は厳しい作柄となりました。中通り
の水稲作況指数は「九八」のやや不良
しかし村内ではいもち病も多く発生
し、半作以下の農家も多く見受けら
れました。農業への自然の影響力の
大きさを痛感させられた一年であり
ました。今年こそは天候に恵まれた
豊穰の秋を願うところでありです。
平成十八年度計画されました各種

事業も、議員各位ならびに村民皆様
のご理解とご協力によりまして順調
に成果を挙げておりますことに御礼
を申し上げます。
課題でありました四つの廃校利用
も、旧西野小学校は「子どもセンター」
に、旧富田小学校は多目的な利用施
設として、旧渡瀬小学校跡地は公営
住宅地として昨年四月から若者家族
が入居し、四世帯の新生活が始まり
ました。また、建設中の二棟四世帯
住宅も間もなく完成し入居者募集も
始まります。渡瀬地域の賑わいを願
うところでもあります。
旧西山小学校は、村内高齢者のため
の施設「介護老人福祉施設」として整備
する計画で現在、事業所の選考中で
あります。福祉施設の建設と合わせて
西山地域の賑興を図ってまいります。

また、高齢者皆様の「豆で達者な村
づくり事業」への参加に御礼を申し
あげます。建設されました農産物直売
所「手・まめ・館」も一周年を迎え順
調に運営されています。村の人たち
が守ってきた源流の里のきれいな水
澄んだ空気、草が乱舞する素晴らしい
環境、また「低農薬、減化学肥料」の安
全・安心の米や野菜、高齢者が汗を
かき手まめな作業で収穫できた大豆
は、「手・まめ・館」で、きな粉や味噌
豆乳、豆腐、油揚げに加工し販売し
ています。高齢者の知恵と技能をお
借りし、農業の振興・豊かで健康な
暮らしができる農村環境の実現を村
民皆さんで目指したいと思えます。
平成十九年の村づくりは、歳入、歳
出ともに大幅な削減が予想される中、
徹底した精査を行い、「最小の経費で、

最大の効果」を念頭に各種事業に取
り組んでまいります。基本理念を「ま
めな暮らしを生かした村づくり」と
した第三次鯉川村振興計画もスター
トしました。中心部の活性化施策
「館山公園の整備」をはじめ、基幹産
業であります「農業の振興」「安心・
安全の農産物への生産誘導」「後継者
の育成対策」「畜産廃棄物を良質堆肥
化し循環型農業で有機野菜栽培」「農
家が農業で生計が維持できる農村の
創造」「夢のある農村環境の整備」に
努力します。また、「高齢者などの福
祉対策」として「若人を選んでいただ
ける村づくり」や「子育て支援体制
などの充実」を図ってまいります。
本年も村民の皆様にとりまして、幸
い多き年でありますようお祈り申し
上げ、年頭のあいさつといたします。